

# 2013年度第1回イトウシンポジウム in 猿払

～持続可能なイトウ釣りの条例づくりに向けて～

北海道宗谷郡猿払村。この地域を流れる川には、日本最大の淡水魚で、国際自然保護連合(IUCN)と環境省が絶滅危惧種に指定する“イトウ”が生息する。上流域に大径木の河畔林が多く残され、イトウが生息する河川環境が保全され、20年近く個体数がほとんど減少していない。

顕著な減少は無いにしても、イトウの減少を誘引しているのは人であり、イトウの保全活動を行っている団体として、釣りに焦点を当て、釣りに対する条例づくり(夜釣り禁止・釣り期間・釣り区間の設定等)を真剣に考えていきたい。

〔日 時〕 平成25年6月1日(土) 開場 12:00 開始13:00 終了17:00

〔会 場〕 猿払村交流センター(〒098-6232 宗谷郡猿払村鬼志別西町 猿払村役場併設)

〔内 容〕

## ◎講演(1部) 13:15~15:00

講演者(敬称略) ○「テーマ」

◇大光明宏武 南富良野町役場企画課 企画振興係

○「南富良野町イトウ保護条例施行のその後」

◇オラフ・ジェンセン 米国ラトガース大学海洋沿岸科学研究所(助教授)

○「モンゴルイトウの生態研究の紹介」

◇ピュレビーン・ツォーゴサハン モンゴル環境緑化省・環境影響評価監察局所長

○「モンゴルに見た持続可能なイトウ釣りのルールづくり」

◇ピート・ランド ワイルド・サーモン・センター(WSC)保全生物学者、

IUCNサケ科魚類専門家グループ。

○「持続可能なイトウ釣りの条例づくりーまとめー」

通 訳 林 大介 M&M通訳メイト株式会社

## ◎パネルディスカッション(2部) 15:15~17:00

コーディネーター 中野信之 朱鞠内湖淡水漁業協同組合

パネリスト(敬称略:当日変更となる場合有り)

◇千葉貴彦 フライフィッシングガイド

◇大光明宏武 ◇オラフ・ジェンセン

◇ピュレビーン・ツォーゴサハン ◇ピート・ランド

◇福島路生(独法)国立環境研 ◇小山内浩一

〔参加申込み(登録)〕

登録される方は、登録者の氏名・所属(勤務先等)・連絡先を記入のうえ、下記まで登録をお願いします。

☆登録連絡先☆

猿払イトウの会 事務局 〒098-6228 北海道宗谷郡猿払村小石 290-171(有)共立建業内

E-mail: [kyoritsu@px-c.net](mailto:kyoritsu@px-c.net) Phone: (01635) 2-3506 Fax: (01635) 2-3526

〔主 催〕 猿払イトウ保全協議会

〔共 催〕 猿払イトウの会

